

平成28年度 当初予算 (案)

# 主な事業の説明書

生涯学習部

款	項	目	大	事	業	ページ
10	5	2	12	芸	術	9-1
10	5	3	10	公	民	9-2
10	5	4	99	子	ど	9-3
10	5	5	16	綜	合	9-4
10	5	5	17	大	仙	9-6
10	5	6	26	ふ	る	9-7
10	5	6	27	川	の	9-8
10	6	1	21	全	国	9-9

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

暗習字新法

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 2 目 12 事業

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 芸術、文化活動の振興

(基本事業) 文化活動参加機会の提供

**拡充**

課所名： 生涯学習部 生涯学習課

『事業名』 芸術文化振興費

【28年度】 5,540 千円 【27年度】 5,577 千円 【増減額】 △ 37 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			324	5,216

環境保全基金繰入金

**1. Plan (計画：事業の目的及び目標)**

市民に芸術鑑賞の場及び芸術文化に携わる人たちの成果発表の場を提供することで、市民交流と地域の活性化、市全体の芸術文化水準の向上を図る。また、「第29回国民文化祭・あきた2014」の開催趣旨となった「地域文化の発信と次世代の文化継承者育成」を目的とした国民文化祭継承事業を実施し、次世代の文化継承者の育成と底辺拡大を図る。

- 目標：平成28年度 大仙市芸術文化協会 加盟団体：250団体 会員数：4,700人  
大仙市芸術祭来場者 700人(土・日曜日2日間開催)

**2. Do (実行：これまでの実績と成果)**

従来から芸術鑑賞機会の提供と芸術文化に携わる人たちの成果発表を目的とした、大仙市芸術祭や各地域文化祭などの催事を通じ、地域文化活動の活性化が図られてきた。

また、平成26年度に開催された国民文化祭を通じては、幅広い分野や世代を越えた文化交流が図られるなど、まさに文化の国体の呼び名にふさわしい感動の祭典となった。

平成27年度においては、大仙市芸術文化協会主催による祭典「大仙市芸術祭」が10回記念大会として秋期2週に亘り単独開催されるなど、団体が主体性をもちながら催事内容を見直し開催されている。

●大仙市芸術文化協会

(平成25年度) 団体数：254団体	会員数：4,339人
(平成26年度) 団体数：251団体	会員数：4,806人
(平成27年度) 団体数：246団体	会員数：4,608人

●大仙市芸術祭来場者数の推移

【創作展開催年】	【芸能発表開催年】
(平成22年度) 900人	(平成23年度) 1,200人
(平成24年度) 700人	(平成25年度) 1,300人
(平成26年度) 400人	(平成27年度) 1,100人

**3. Check (評価：問題と課題)**

大仙市芸術祭や各地域文化祭の開催が果たしてきた地域文化振興という役割は勿論、国民文化祭の開催を通じて形成された、文化活動参加者相互の分野や世代を越えた絆が一過性のものに留まらないよう、継続して長期的な文化継承と振興に結びつけていくことが課題である。

この課題解決に向け、新たに「国民文化祭継承事業」の開催趣旨を反映した催事の検討や、テーマ性をもった企画展の実施など、既存事業の見直しと新規事業検討を同時に進められるよう関係機関との連携を一層図り、芸術文化のさらなる振興を目指す。

**4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)**

市全体のさらなる芸術文化水準の向上を目指す上で、新たな芸術文化鑑賞機会として、テーマ性をもった企画展『第二楽章』男鹿和雄展(大仙)の実現に向け、関係機関との協議や広範にわたる周知活動など情報発信に注力する。

また、文化活動の基幹組織である大仙市芸術文化協会の活動に対する支援を通じ、大仙市芸術祭など既設の催事内容を見直しながら、新たに国民文化祭継承事業の事業成果や開催趣旨を反映した新規事業を検討する。

(大仙市全域)

- 『第二楽章』男鹿和雄展(大仙)開催準備経費・・・・・・・・・・ 834千円  
平成29年度開催予定(平成28年度は周知活動経費として印刷製本費、旅費を予算計上)
- 国民文化祭継承事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 760千円  
(「囲碁サミット2014 in 大仙」事業、「秋田の美×写真の力」事業、【新規】大仙市文化継承祭典)
- 荒川焼陶芸体験出前講座(市民向けの出前講座など)・・・・・・・・ 777千円
- 出前民謡「ふるさと民謡めぐり」(平成28年度で10年目)・・・・ 640千円
- 大仙市芸術祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57千円

(各地域)

- 地域文化祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,625千円
- その他文化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 847千円

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 3 目 10 事業

(施策の大綱) 生涯学習の推進

(施策) 生涯学習の基盤づくりと推進基盤の充実

(基本事業) 学習施設の整備、充実

**継続**

課所名：生涯学習部 生涯学習課

『事業名』 公民館管理費

【28年度】 200,299 千円 【27年度】 178,511 千円 【増減額】 21,788 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,394			27,678	171,227

公共施設等修繕引当基金繰入金 22,612  
公民館使用料 ほか 5,066

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

市内各地域にある公民館を管理運営するために必要な経費であり、生涯学習活動や地域活性化活動の拠点施設として市民に広く利用していただくためにも築年数の古い公民館については年次計画により耐震診断をおこない、安全に使用できる環境を維持することを目的とする。

●目標：各地域関係施設利用者数 435,000人

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

これまで生涯学習活動、地域活性化活動の拠点施設として市民が清潔で安全に使用できる環境を提供し、緊急性の高い案件については修繕等により即時対応しながら公民館運営及び維持管理が図られてきた。

【平成26年度実績 各地域関係施設利用者数】 (人)

大曲	神岡	西仙北	中仙	協和	南外	仙北	太田	計
169,124	38,818	34,278	93,517	37,539	4,117	24,777	27,093	429,263

3. C h e c k (評価：問題と課題)

公民館を維持していくためには管理費は必要不可欠であり、経年劣化による修繕や工事請負等が年々増加することが懸念されている。また、現在策定中の公共施設再編計画に基づき公民館の利用実態を把握しながらより多くの市民が利用できるような公民館運営が必要とされている。

4. A c t (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

公民館管理費は市民が生涯学習活動、地域活性化活動の拠点施設として利用する上で必要不可欠な経費である。

平成28年度は、太田公民館周辺施設の再編計画に伴う太田公民館事務室移転と太田文化プラザの耐震診断を行う。施設改築については、西仙北中央公民館改築に向けた基本構想を策定する。

全体の方向性としては公民館の統廃合や改築を検討しており、地域事情や施設状況に応じて順次進めていく必要がある。

主な事業費内訳

●委託料

太田文化プラザ管理・清掃・耐震診断業務	9,465千円
太田生活改善センター管理業務	5,594千円
西仙北中央公民館建築基本構想業務委託	1,113千円

●工事請負費

太田公民館減築改修工事	14,778千円
中仙公民館豊川分館トイレ改修工事	7,834千円
中仙公民館豊川分館さく井工事	681千円

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 4 目 99 事業

(施策の大綱) 生涯学習の推進

(施策) 学習情報の提供と学習機会の充実

(基本事業) 総合的な学習の場及び図書の情報提供

**拡充**

課所名：生涯学習部 生涯学習課総合図書館

『事業名』 子ども読書活動推進事業費

【28年度】 6,060 千円 【27年度】 6,174 千円 【増減額】 △ 114 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				6,060

**1. Plan (計画：事業の目的及び目標)**

「第2次親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づき、より多くの人々が読書の大切さについて理解を深めることにより、子どもたちが本に親しみ、自らの力で読書する意欲を高めるとともに、生涯にわたって、読書を継続する習慣を培えるよう、家庭や地域、学校、図書館のそれぞれにおいてあらゆる年代に見合った読書活動を推進する。

●目標：団体貸出冊数 13,500冊

**2. Do (実行：これまでの実績と成果)**

○ブックスタート事業

4か月児健診時に、赤ちゃんと保護者を対象に、絵本を介して心ふれあうひとときを持つきっかけづくりを支援している。事業は定着してきており、保護者からも好評を得ている。

【配布人数】	H22	H23	H24	H25	H26
	563	495	524	530	488

○市立図書館と学校図書館の連携

子ども読書支援サポーター3名を大曲地域、東部地域、西部地域に配置し、学校図書館の整備を図りながら子どもの読書活動に対する支援体制を強化している。学校図書館との連携が密になり、団体貸出冊数も増加傾向にある。

【団体貸出数】	H23	H24	H25	H26
	12,021	12,011	12,896	13,413

○だいせん読書の日における読書活動の推進

27年度に策定した「第2次親と子の夢を育む読書活動推進計画」において、11月第1木曜日を「だいせん読書の日」に制定。各図書館では、「だいせん読書の日」及び「読書週間」に合わせ、多様なイベントを開催した。

大曲図書館では、ボランティアや地域の方々の協力のもと“気軽にぶらりと来ていただけるライブラリー”を目指し、「来ぶらりフェス」を27年度に初めて開催し、来館者から好評をいただいた。

**3. Check (評価：問題と課題)**

家庭や地域、社会が一体となった読書活動を推進するため、27年度に制定された「だいせん読書の日」について、さらにPRする必要がある。

**4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)**

「だいせん読書の日」のPR強化のため、広報やホームページ、FMはなびでの周知に加え、幟やポスターを設置し、広く市民の読書活動を推進する。

大曲図書館では、好評をいただいた「来ぶらりフェス」を引き続き「だいせん読書の日」に開催するほか、各地域図書館においても読書週間を中心に多様なイベントを企画し、本を楽しむ機会を提供する。

「だいせん読書の日」関連経費 265千円

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 5 目 16 事業

(施策の大綱)芸術・文化活動の振興

(施策)芸術・文化活動の振興

(基本事業)芸術鑑賞機会の拡大

継続

課所名：生涯学習部 生涯学習課 総合市民会館

## 『事業名』 総合市民会館運営費

【28年度】 36,733 千円 【27年度】 39,860 千円 【増減額】 △ 3,127 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			18,221	18,512

入場料等収入

### 1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

優れた芸術文化を身近に鑑賞する機会を市民に提供し、市民の芸術文化意識の向上と地域の振興発展に資することを目的に、4市民会館がそれぞれの立地条件や舞台設備、又は地域性を生かした自主事業公演を効果的に実施する。

●目標：事業費に占める歳入の割合（収支比率）は、4館合計実績50%以上を目標とする。

### 2. Do (実行：これまでの実績と成果)

- ・公演の企画立案は市民と行政が協働で行い、市民の幅広いニーズに対応した公演は多くの市民にご満足いただいている。
- ・事業費に占める歳入の割合（収支比率）は年々向上しており、今後も優良で収支比率の向上が見込める事業を継続して実施する。

●4館決算総額の収支比率 ・H23→37% ・H24→42% ・H25→43% ・H26→55% ・H27→51%（見込み）

### 3. Check (評価：問題と課題)

- ・優良な舞台公演を市民に提供していくことは意義深いと考えており、今後も助成事業や共催事業の活用等により一般財源負担の軽減にも努め、4館がより一層の工夫と努力で市民に優れた舞台芸術を提供していく。
- ・会館職員の減少や専門資格職員の退職が進む中、安全安心に事業を推進していくためには専門職員の確保が必要になってくる。

### 4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

- ・自衛隊音楽隊、クラシック音楽、フラメンコ、ポップス、演劇、民俗芸能、能など、多彩なジャンルの公演を市民に提供する。（各館の事業内容は別紙のとおり）
- ・大曲市民会館では、大仙市出身アーティストの公演と市民参加型の公演を実施する。
- ・大曲市民会館の1事業について、芸術文化振興基金に助成金を申請している。

区分	事業費 (千円)	入場料等収入 (千円)	一般財源 (千円)	収支比率 (%)
大曲市民会館（5事業）	15,569	8,975	6,594	58
中仙市民会館（4事業）	9,605	4,826	4,779	50
協和市民センター（2事業）	9,204	3,940	5,264	43
ふれあい文化センター（2事業）	2,355	480	1,875	20
合 計	36,733	18,221	18,512	50

(収支比率は入場料等収入／事業費で算出)

28年度 4館自主事業公演

	事業名	実施年月日	公演形態	入場料金	入場者数	事業費	入場料収入	一般財源	
				(前売り)円	人				千円
大曲市民会館	1 ポップス系コンサート	7月～12月	自主	S席7,500	964	8,787	7,125	6,594	
	2 高橋紀博フラメンコリサイタル	H28.11.12	自主	S席2,000	400	2,439	800		
	3 市民によるクリスマスコンサート	H28.12.25	自主	—	700	1,000	0		
	4 山形由美 & 中鉢聡おしゃべりコンサート	H28.12.3	自主	S席2,000	500	2,572	1,000		
	5 公開番組「NHKのど自慢大会」	H28.11.27	自主	入場無料	800	771	0		
				その他歳入	チケット販売手数料			50	
						H28年度予算	15,569	8,975	6,594
					H27年度予算	16,821	9,120	7,701	
中仙市民会館	1 陸上自衛隊東北方面音楽隊コンサート	7月	自主	入場無料	500	542	0	4,779	
	2 松竹特別公演「芝桜」 中田嘉子・水野真紀・川野太郎他	H28.8.30	自主	S席5,000 A席4,500	500	4,076	2,325		
	3 布施明トーク&ライブ	10月	自主	S席5,000 A席4,500	500	4,752	2,400		
	4 優秀映画鑑賞会	1月下旬	自主	全席自由500	200	235	100		
				その他歳入	チケット販売手数料			1	
						H28年度予算	9,605	4,826	4,779
					H27年度予算	9,671	5,276	4,395	
協和市民センター	1 堀内孝雄コンサート	11月	自主	一般 5,000	500	4,815	2,250	5,264	
	2 能公演(観世流)	H28.9.4	自主	S席8,000 A席7,000	200	4,389	1,660		
				その他歳入	チケット販売手数料		30		
						H28年度予算	9,204	3,940	5,264
						H27年度予算	9,150	4,476	4,674
ふれ文	1 民俗芸能フェスティバル【(山形花笠踊り、奥州金津流獅子踊り・花輪囃・椒沢(はじかみざわ)番楽)】	9月～11月	自主	全席1,000	450	1,855	480	1,875	
	2 史跡の里ふれあいコンサート(自衛隊音楽隊)	10月	自主	入場無料	500	500	0		
				その他歳入	チケット販売手数料				
						H28年度予算	2,355	480	1,875
					H27年度予算	3,721	590	3,131	
4館計						H28年度予算合計	36,733	18,221	18,512
						H27年度予算合計	39,363	19,462	19,901

# 事業説明書

10 款 5 項 5 目 17 事業

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 芸術、文化活動の振興

(基本事業) 芸術鑑賞機会の拡大

見直し

課所名：生涯学習部 生涯学習課 総合市民会館

## 『事業名』 大仙市大曲新人音楽祭開催経費

【28年度】 3,209 千円 【27年度】 4,721 千円 【増減額】 △ 1,512 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			130	3,079

大仙市大曲新人音楽祭事業収入

### 1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

大曲新人音楽祭コンクールは、若い音楽家による演奏コンクールを実施し、才能ある若手音楽家の発掘と育成を図ることにより、地方における音楽文化の振興と地域の活性化に寄与することを目的に開催している。

- 目標：大仙市大曲新人音楽祭観客数：400名

### 2. Do (実行：これまでの実績と成果)

- ・レベルの高いクラシック音楽コンクールの開催により、当市の音楽文化の発展に寄与してきた。
- ・運営に多くの市民が関わる手作りのイベントであり、市民との協働によるまちづくり事業として発展してきた。
- ・本格的な全国規模のコンクールを市町村が主催する例はあまりなく、地方に豊かな文化を根付かせる取組として評価されている。

#### 【出場者数の推移(過去5回)】

出場部門	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回
ピアノ	15名	14名	12名	14名	16名
管楽器	36名	28名	18名	33名	24名
声楽	10名	10名	17名	22名	11名
合計	61名	52名	47名	69名	51名

### 3. Check (評価：問題と課題)

合併10周年を迎えた大仙市として、これまでの音楽祭コンクールを子どもたちも含めた市民参加型のクラシック音楽祭とし、今以上に市民が親しみ、地域の活性化に資する音楽イベントとして発展させる。

### 4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

#### 【今後の方向性】

音楽を通じ、市民自ら誇りに思うまちづくりの推進と地域活性化を図るため、より一層市民が親しみ地域が盛り上がる音楽祭へと改善していく。また、子どもたちに、音楽を通じて豊かな心と感性を育む機会を提供し、音楽レベル向上の一助とする。

#### 【28年度事業概要】

平成28年度の音楽祭は、これまでの成果を検証し、次につなげるためのイベントとするため、歴代参加者を中心とした祭典とする。また、平成29年度から行う音楽祭に向け、新たな組織を立ち上げ、その準備に取り掛かる。

(1) 「大仙市大曲新人音楽祭コンクールの歩み」作成

(2) 大仙市大曲新人音楽祭開催

- 主催 大仙市
- 実施時期 平成28年 9月～10月頃(1日)
- 実施場所 大仙市大曲市民会館(大ホール、小ホール)
- 出演者 歴代入賞者・出場者等
- 入場料 無料
- 広告方法 市広報、FMはなび、魁新聞  
県内市民会館へポスター・チラシ送付、市内小・中・高校へポスター  
チラシ送付



# 事 業 説 明 書

10 款    5 項    6 目    26 事業

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の整備と活用

**新規**

課所名：生涯学習部 文化財保護課

『事業名』 ふるさと歴史の広場整備事業費

【28年度】                    8,585 千円 【27年度】                    0 千円 【増減額】                    8,585 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			2,500	6,085

環境保全基金繰入金

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

- ①市が事業主体となり、交流拠点・活性化促進施設となりうる中心的な文化財及び周辺の便益施設や安全施設、案内板等を補完整備することで、市の歴史文化を活用したまちづくりを助長する。
- ②ネット情報やメディアや紙媒体によるPR等を推進し、文化財の正しい情報を提供し、ストーリー性を大切とした文化財の重要性や必要性に対する認識を高めることを目的とする。

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ①これまでは、破損・故障等が発生した場合において、小規模な修繕程度で対応する手法であった。
- ②パンフレット等については、国の経済対策等を活用して緊急的に作成したが、残部がわずかとなったことから、今後は効率的かつ計画的に文化財情報の周知・発信するための対応が必要となってくる。
- ③文化財の整備等は、生活に密着した緊急度の高い事業とは違って、市民の行政評価は決して高くはないが、歴史文化が廃れないように、継続的に行政が直接または間接的に支援する必要がある。

4. A c t (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

- ①これまでの指定文化財等の保存整備事業では、単発的に修繕や維持管理を実施してきたが、市の文化財施設の中核的な箇所を中心に本事業を実施することで、住む人、訪れる人の双方に本市の文化情報を理解する手助けとなるような機運醸成を図ることができる。
- ②今後はこうした広場や案内板等を計画的に適宜整備していく。

◆具体的な整備方向

- ◎今後5年間程度は、古四王神社（中央）、唐松神社（西部）、水神社（東部）の3つの文化財施設の周辺を中心に、安全確保対策、案内板設置や訪問者用トイレ、見学路表示等を整備する。
- ◎これらのほかにソフト面での事業として、文化財を紹介するためのパンフレットの作成や指定文化財候補物件の調査も計画的に実施する。

(今後の実施予定の主なハード事業)

平成28年度	唐松神社	広場便所新設工事
	古四王神社	案内看板修繕工事
		園路等案内板設置 ほか
平成29年度	古四王神社	園内見学コース舗装修繕工事
	水神社	園路等案内板設置
平成30年度	古四王神社	園内樹木安全管理業務（剪定）
	水神社	国宝等解説パネル設置工事                    ほか

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 27 事業

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の整備と活用

新規

課所名：生涯学習部 文化財保護課

『事業名』 川のまち歴史交流館整備事業費

【28年度】 51,000 千円 【27年度】 0 千円 【増減額】 51,000 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,000		43,000		1,000

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

- ①角間川地区の歴史的な旧家の屋敷地を活用した「川のまち歴史交流館」を整備する事業。
- ②市が事業主体となって地域の歴史を後世に伝えることのできる交流拠点及び地域活性化が促進できる文化的エリアに整備するために、御三家と称される旧地主の土地・建物を計画的に取得する。
- ③秀逸な既存の文化財建物の保存活用と案内便益施設を中長期的に整備し、歴史的文化的施設として地域活性化とふるさと文化の向上に資する。

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ①地域の歴史的なシンボルである建物の経年劣化及び消滅が懸念されるため、喫緊に御三家の黒塀や土地建物を総合的に点検し、保存と整備を行う必要がある。
- ②整備財源として社会資本整備総合交付金（空き家対策）の活用は可能であるが用地取得費は対象外である。しかしながら、保存活用のためには対象地を確保することが事業着手の始めとなる。
- ③まちづくりに有効な事業であり、活用については地域と文化財保護・観光・産業等の総合的な情報共有が重要であることから、早期に連絡協議会等を発足させる必要がある。
- ④前述（③）と関係するが、市内の他の文化財と線的な活用紹介と受入れ態勢の構築が課題である。

4. A c t (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

取得及び活用のための緊急的な整備を概ね5年で行うとともに、まち歩き情報や地元産品等の販売機会の提供を可能とするエリア整備によって交流人口の増大を目指す。また、整備財源確保のために日本遺産認定のための事務を積極的に進める。

◆整備計画の概要

- H28年度～H30年度 → 御三家の土地建物取得・環境整備・便益施設設置等
- H28 荒川家関係 取得・調査・減築
  - H29 本郷家関係 取得・整備
  - H30 北島家関係 取得・整備・減築
- H30年度～ → 維持管理・ソフト活動支援による充実を図る。

# 事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 21 事業

(施策の大綱) スポーツ、レクリエーションの推進

(施策) スポーツ機会の拡大

(基本事業) 生涯スポーツの推進

新規

課所名：生涯学習部 スポーツ振興課

『事業名』 全国500歳野球大会関係費

【28年度】 3,500 千円 【27年度】 0 千円 【増減額】 3,500 千円

※28年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			3,500	

地域振興基金繰入金

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

平成29年度に本市で開催する第1回全国500歳野球大会へ向けて、28年度はプレ大会を開催する。「野球に燃える親父たちの甲子園」のキャッチフレーズのもと、高齢者が野球を楽しみながら健康づくりを行うことをモットーに、500歳野球の全国大会を展開することで、生涯スポーツとしての野球を楽しみながら、長寿社会の形成に資することを目的とする。  
併せて、地域知名度の向上と観光宣伝及び特産品PRを通じて地域活性化を図ることを目標とする。

●目標：全国500歳野球プレ大会出場チーム数 12チーム

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

[全国500歳野球大会開催プロジェクトチームによる説明会実施状況]

- 平成27年2月 徳島県 (徳島新聞社、阿南市産業部野球のまち推進課)
- 平成27年3月 青森県 (青森県還暦野球連盟、青森県熟年野球連盟、青森県50歳野球連盟 他)
- 平成27年3月 岩手県 (岩手県還暦野球連盟)
- 平成27年4月 岩手県 (岩手県野球協会、宮古市野球協会、宮古市教育委員会)
- 平成27年4月 宮城県 (仙台市広域50歳野球協会)
- 平成27年6月 神奈川県 (座間市野球協会、座間市健康部スポーツ課)
- 平成27年6月 京都府 (京都府野球協会、京都500歳野球連盟)
- 平成27年7月 全日本軟式野球連盟 (後援・支援)
- 平成27年7月 東京都 (東京都軟式野球連盟)
- 平成27年8月 宮崎県 (宮崎地区軟式野球連盟、佐土原総合支所地域総務課 他)
- 平成27年12月 福島県 (東北軟式野球連盟) ※東北6県の軟式野球連盟会長・理事長会議

【首都圏協賛】 報知新聞東京本社「スポーツ報知」、ミズノ (株)

【映画制作・記事取材】 よしもとクリエイティブ・エージェンシー、カタログハウス「通販生活」

3. Check (評価：問題と課題)

全国500歳野球大会開催に関しては、各都道府県の参加対象となる団体 (生涯野球連盟、シニア野球連盟、50歳野球連盟等) に大会の情報提供を積極的に行うなど、PR活動を継続することで参加チームが増加するように努める。また、充実した大会運営を行うための会場整備等、野球環境の更なる向上を図る。  
全国大会は、本市の知名度を上げる良い機会となるため、歓迎レセプションや観光ツアー、特産品ブースの設置など、他の部局や宿泊施設、その他関係機関と連携して選手等へのおもてなしも充実させ、交流人口の拡大を図ることが必要である。

4. Act (改善：今後の方向性と28年度事業の概要)

現在、全県大会は市を代表するスポーツイベントとして成長しており、出場を希望するチームが年々増加傾向にあることから、今後は大仙市から全国に向けて情報を発信し、500歳野球の需要拡大に努め全国大会を開催する。

【平成28年度全国500歳野球プレ大会】

- 大会期日 平成28年7月16日 (土)～18日 (月) ※予定
- 会 場 大仙市総合公園野球場 (主会場)、神岡野球場 (全2会場)
- 出場チーム 12チーム (目標)

【第1回全国500歳野球大会】

- 大会期日 平成29年7月15日 (土)～17日 (月) ※予定
- 会 場 大仙市総合公園野球場 (主会場)、神岡野球場 (全2会場)
- 出場チーム 20チーム (目標)

